

静岡県イベント開催におけるチェックリスト（主催者用）

イベント名	リノベーションまちづくりワークショップ	担当課	産業振興課
開催日時	令和3年9月11日（土）、10月2日（土）9：30～18：30		
会場	鴨江アートセンター201、301	収容人数	人
参加者想定	20人程度（うち高齢者 人、障害のある方 人、子ども 人）	収容率	%
イベント類型	☒ 大声歓声等なし（ ）※1	☐ 大声歓声等あり（ ）※1	
	☒ 収容率50%以内（収容人数1万人超・大声歓声等あり※2の場合）	☐ 5,000人以下（収容人数1万人以下の場合）	
イベントの性質	☒ 入退場や区域内の適切な行動確保が可能	☐ 入退場や区域内の適切な行動確保が困難	
	☒ 参加者の位置が固定（座席や立ち位置固定）	☐ 参加者が自由に移動できる	
	☒ 名簿等で参加者の把握が可能	☐ 名簿等で参加者の把握が困難	

※1（ ）には、クラシック音楽、演劇、伝統芸能、公演・式典、展示会、ロックコンサート、スポーツイベント、公演などを記載

※2 同一グループ（5人以内）では座席間隔を設けなくともよいため、収容率が50%を超える場合がある

項目	チェック内容	具体的な対応
----	--------	--------

（1）全般的な事項

全般的な事項	☒ 施設管理者等と協力・役割分担の上、適切な感染防止策を実施 ☒ 参加者が、感染防止対策が講じられているか確認することができるように、会場内の適切な場所へのチェックリストの掲示、ホームページでの公表を実施 ☒ 各事項が遵守されているか会場内を定期的に巡回・確認 ☒ 可能な限り、事前予約制の導入や入場時における参加者等の住所・氏名等の確認（個人情報の取扱いには十分注意、参加者等に対して必要に応じて保健所等の公的機関へ提供されることを事前に周知） ☒ 参加者への接触確認アプリの利用の呼び掛け ☒ イベント終了後に、参加者から新型コロナウイルス感染症を発症したとの報告があった場合や、地域の生活圏において感染拡大の可能性が報告された場合の対応方針を決めておくこと	
--------	--	--

（2）イベント参加者への依頼

イベント前後	☒ 参加者が以下の事項に該当する場合は、参加の見合わせ ・体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛・味覚障害などの症状がある場合） ・新型コロナウイルス感染症の陽性と判明した方との濃厚接触がある場合 ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合 ・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合 ☒ 接触確認アプリの利用 ☒ 感染拡大防止のために主催者から連絡先登録等の求めがある場合、積極的に応じること ☒ イベント終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、保健所が実施する行動履歴等の調査への協力を要請 ☒ イベント前のミーティングや懇親会等における「三つの密」の回避	左記の他に、 ・静岡県外在住の場合、参加の見合わせを依頼する。 ・はままつ LINE コロナ身守りシステムの利用を依頼する。
イベント中	☒ マスク着用、こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒 ☐ 会場内の混雑を防止するため、入場制限する場合があることへの理解 ☒ 参加者、スタッフ等との十分な距離等の確保（障害のある方等の誘導・介助を行う場合を除く） ☒ イベント中の大きな声での会話禁止 ☒ 原則として、ごみは持ち帰る ☒ その他、感染防止のために主催者が決めた措置や主催者指示の遵守	

（3）施設・会場（施設管理者と協力・役割分担の上、実施）

リスク評価	接触感染	☒ 他者と共有する物品やドアノブなど手が触れる場所と頻度を特定 ☒ 高頻度接触部位（テーブル、椅子の背もたれ、ドアノブ、電気のスイッチ、電話、キーボード、タブレット、タッチパネル、レジ、蛇口、手すり・つり革、エレベーターのボタンなど）には特に注意	
	飛沫感染	☒ 換気の状態を考慮しつつ、人と人との距離がどの程度維持できるか、施設内で大声などを出す場がどこにあるかなどを評価	
本会場		☒ 会場の換気の徹底（窓開け、機械換気、法令等を遵守した空調設備の設置など） ☐ 可能な限り換気状況のモニタリング（二酸化炭素濃度計測装置の設置等） ☒ 不特定多数が接触する場所は、定期的に清拭消毒を実施	
共用物品・設備の消毒等		☒ 他人と共用する物品や手が頻繁に触れる箇所を工夫して最低限にする ☒ 複数の人の手が触れる場所・物品を適宜消毒。特に、手や口が触れるものは、適切に洗浄消毒するなど特段の対応を実施	

トイレ	☒ 便器内は、通常の清掃 ☒ 不特定多数が接触する場所は、清拭消毒を実施 ☐ トイレの蓋を閉めて汚物を流すよう表示 - ハンドドライヤー禁止、ペーパータオル設置などの衛生対策をとる	
ロビー・ 休憩スペース	☒ 一度に休憩する人数を減らす。 ☒ 食事は長時間マスクを外すことが想定され、隣席への飛沫感染のリスクを高めるため、自粛を要請 ☒ 休憩スペースは、常時換気を実施 ☒ スタッフが使用する際は、入退室の前後に手洗いを実施	
ゴミの廃棄	☒ 鼻水、唾液などが付いたごみは、ビニール袋に入れて密閉して縛る ☒ ゴミを回収する人は、マスクや手袋を着用 ☒ マスクや手袋を脱いだ後は、必ず石鹸と流水で手洗い	
清掃・消毒	☒ 市販の界面活性剤含有の洗浄剤や漂白剤を用いて清掃 ☒ 通常の清掃後に、不特定多数が触れる環境表面を清拭消毒（開催前後） ☒ イベント開催中も、必要に応じて、手すり等の共用部を消毒 ☒ 手が触れることがない床や壁は、通常の清掃	

（４）運営

開催・運営に 当たっての 留意点		☒ イベント時間は、可能な限り短縮し、感染リスクを圧縮 ☒ 主催者は、参加者等に対し原則、マスク着用を依頼すること。ただし、同時に熱中症等対策を講じる場合は、着用の必要性を確認し、参加者等に注意喚起すること ☒ マスクを持参していない参加者に対しては主催者がマスクを配布すること ☒ 至近距離での対面接触の機会を縮減 ☒ 人と人との間隔を確保（人と人とは触れ合わない程度の距離） ☒ 会場設営は可能な限り簡素化し、設営に要する人員・時間の縮減 ☐ 定点カメラやデジタル技術による混雑状況のモニタリング・表示 ☐ 障害のある方、高齢者、基礎疾患のある方など、感染時に重篤化する可能性が高い方に特に配慮（参加させない、入口や会場を分けるなどの工夫） ☒ 大声を出す者がいた場合、個別に注意、対応等ができるよう、人員を配置するなど体制を整備 ☒ 演者・選手等と観客がイベント前後・休憩時間等に接触しないよう確実な措置を講じること ☒ 演者が発声する場合には、舞台から観客の間隔を２m確保すること - 合唱等においては、講じる防止策（マスク着用等）に応じた適切な演者間距離を確保（例：マスク着用時は前後1m左右50cm、未着用時は前後2m左右1m等） - 寒冷な場面における換気等については、適切な室内環境を維持しつつ、十分な換気を行うこと（温度は18℃、湿度は40%以上が目安）	
当日の受付時の対応		☒ 入口、受付窓口手指消毒剤の設置 ☒ 参加者の検温（非接触型）や赤外線カメラで体温を確認 ☒ 発熱や軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある方は入場させない - 有症状者の入場を断った場合の入場料等の払い戻しの措置等を定めておくこと ☒ 人と人が対面する場所は、アクリル板や透明ビニールカーテンなどで遮蔽 ☒ 参加者が距離をにおいて並べるよう目印等（足型）を設置 ☒ 受付を行うスタッフは、マスクを着用 ☒ インターネットやスマートフォンを使った電子的な受付の一層の普及を図り、受付場所での書面の記入や現金の授受等をできるだけ回避 ☒ 参加者に対して、「イベント参加者への依頼事項」の呼びかけ	左記の他に、 ・受付を行うスタッフはフェイスシールドを着用する。 ・アンケートはWebにて回答を依頼する。
演者・イベント スタッフ等		☒ スタッフは、イベントの運営に必要な最小限の人数とする ☒ 演者・イベントスタッフ及びその家族の出勤前の検温・体調確認を徹底し、発熱がある場合等は自宅待機とする ☒ マスク着用、手洗い、手指消毒の徹底 ☒ スタッフのユニフォーム等については、こまめに洗濯を行い、清潔に保つ ☒ イベント中に体調変化をきたしたスタッフがいないか注意 ☒ 休憩時間は分散化し、対面での食事、会話を避ける ☒ 休憩場所は、窓を開けるなど換気を徹底 ☒ スタッフに対する感染防止に係る教育の実施（アルバイトを含む）	左記の他に、 ・イベント前後２週間、スタッフは行動履歴を記録しておく。
参加者	大声歓声等 ない場合	☒ 定められた人数上限、収容率を遵守し、間隔は密が発生しない程度（最低限人と人が接触しない程度の間隔）とすること	
	大声歓声等 ある場合	☐ 定められた人数上限、収容率を遵守し、異なるグループ又は個人間では座席を一席（立席の場合は1m）は空けること ☐ 座席の間隔を空ける必要のないグループ人数は5名以内に限る ☐ マスク着用を厳守 ☐ 換気の確保・徹底	

	展示会・お祭り・野外フェス等	☐ 定められた人数上限、収容率を遵守し、十分な人と人との間隔（１ｍ）を確保すること	
	物販・売店	☐ 物販、売店、飲食は最低限とし、次に留意する ☐ 人員整理などによる待ち行列の間隔確保（足型設置）、抑制への配慮 ☐ 売店、飲食スペースの厳重な衛生的配慮（できない場合は物販等の実施を認めない）	
	飲食	☒ 飲食用に感染防止策を行ったエリア以外での飲食の制限 ☒ 特に、収容率 50％を超える場合、飲食可能エリア以外での飲食は原則禁止 ☒ 休憩時間中及びイベント前後の食事等による感染防止の徹底 - 過度な飲酒の自粛	
	マスメディア（取材）	☒ 取材時の人と人との間隔確保 ☒ 取材者の把握及び注意事項等の徹底 ☒ マスク着用、手洗い、手指消毒の徹底	
	参加者等の動線、人員整理等	☒ 会場内、動線上、人員を滞留させない ☒ 誘導員による適切な誘導 ☒ 複数かつ余裕のある人員動線の確保 ☐ 多様な交通手段の提示や時間差入退場などの工夫	
	会場までの輸送（シャトルバス）	☐ 鉄道駅・駐車場等と会場間にシャトルバスを運行する場合は、バス利用者が間隔を空けて着席できるようにする ☐ バスは、常時窓を開けるなど換気を徹底 ☐ 利用者に対して、会話を避けるよう呼びかけ ☐ 乗車場所の行列・待機の立ち位置を明示するなど、間隔の確保 ☐ 乗車待ち時の熱中症対策などを実施（乗車場所、待合場所の工夫）	

（５）事前会議・打合せ

	事前の会議・打合せ	☒ イベント開催に当たっての会議・打合せは、必要最低限の人数で実施 ☒ 会議・打合せ時間は、可能な限り短縮（事前の資料配布など、方法の工夫） ☒ 会議・打合せは、可能な限り広い空間で行い、換気を徹底 ☒ オンラインの活用（リモート会議等）	
--	-----------	--	--

（６）スポーツイベントに関する特記事項

	イベント参加者への依頼事項	☐ 参加者の体調確認のため、体温等を事前報告（個人情報の取扱いに注意し、必要に応じて住所・氏名等も確認） ☐ 運動・スポーツ時以外のマスク着用（運動・スポーツ時のマスク着用は参加者等の判断による）	
	施設・会場	☐ 更衣室、休憩・待機スペースは、三つの密を避け、高頻度接触部位の消毒の実施	
	運営	☐ 参加者に飲食物（栄養補給）を提供する際には、手洗い・手指消毒の実施の呼びかけ、大皿での供与はしないなど、配慮する ☐ 観客については、大声での声援や会話を控えることやマスク着用を要請 ☐ ラッパ等の鳴り物を禁止し、個別に注意、対応ができるよう体制を整備	